

リムーブキーパー

- キーパ可撤式
- キーパを簡単に取り外せ、MRI検査に対応
- キーパを直接鋳接しないため、キーパ表面の研磨・酸処理が不要になり、吸引力低下を防止



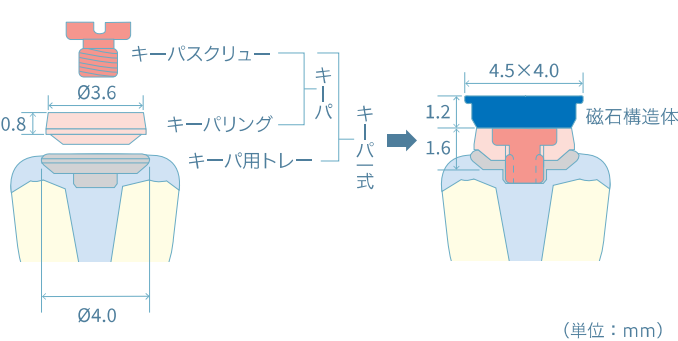
仕様

基本性能

吸引力			600 gf
漏洩磁場			0.003T
寸法	磁石構造体	高径(mm)	1.2
		最外径(mm)	4.5×4.0
	キーパー式	仕上げ後高径(mm)	0.8
		吸着面径(mm)	Ø3.6
		最外径(mm)	Ø4.0

医療機器認証番号 マグフィットDX：21500BZZ00411000
リムーブキーパー：21100BZZ00752000

構造及び材質



(単位：mm)

参考

- MRI撮像におけるアーチファクト(画像障害像)：写真1（資料提供：東京医科歯科大学大学院 摂食機能構築学）磁性材料（キーパ）が装着された補綴物近傍にはアーチファクトが発生し、口腔内の診断などに支障が出る場合がある。
- アーチファクトの大きさの比較：図1

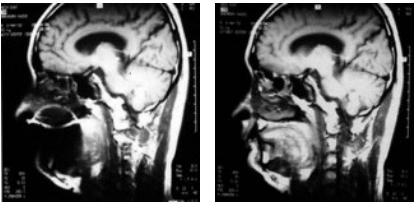


写真1 MRI撮像におけるアーチファクト

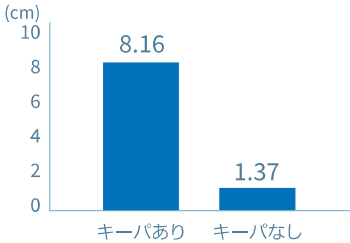


図1 アーチファクトの大きさの比較

使用上の注意

- 支台歯の形成を凹面状(直径 約4.0mm)にすると吸着面を低くすることができます。(図2参照)
- クリアランスは、約5.0mm以上が適当です。
- キーパを鋳造する際には、専用の鋳造治具を使用してください。(写真2参照)

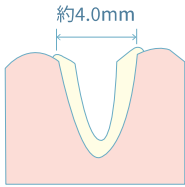


図2 支台歯形成



写真2 鋳造治具